

- 1 審議会名 上田市博物館協議会
- 2 日 時 平成29年3月6日 午後1時30分から2時30分まで
- 3 会 場 上田市立信濃国分寺資料館 講堂
- 4 出席者 小宮山千佐委員、神戸弘子委員、堀内泰委員、宮澤かほる委員
- 5 市側出席者 倉澤博物館長、山寄補佐、尾見資料館長、
- 6 公開・非公開等の別 公開・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成29年3月7日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (山寄補佐)
- 2 あいさつ (堀内会長、倉澤博物館長)
- 3 協議事項
- (1) 議題の概要
H28年度の事業報告
- (2) 審議概要
H28年度の事業報告
(事務局) 市立博物館、信濃国分寺資料館、丸子郷土博物館の順で説明。
- (委員) ・大河ドラマの影響が大きい年だったと思う。
・今後、極端に入館者が減らないように事業を進めてもらいたい。
・市立博物館は本館の建物だけだと手狭であったが、別館ができたおかげで、真田氏関係の展示ができ、充実していたと思う。
・今後も、市立博物館・国分寺資料館・丸子郷土博物館それぞれのもつ性格を生かした事業を進めていってほしい。
- (事務局) ・全国から、多くの人たちが来てくれた。別館ができたため、今まで展示が難しかった祭礼図屏風、加舎白雄の屏風などの展示ができるようになった。また、小規模だが、展示替えもできるようになった。
- (委員) ・年間4回の企画展は大変だったと思う。
・映像の展示もよかった。展示室の限られたスペースを工夫していただいた。お疲れ様でした。
- (委員) ・ドラマ館はどのような形態で運営していたのか。
(事務局) ・民間委託の形態で、市はシティ・プロモーションが関係して運営していた。
- (委員) ・資料館の秋企画展で実施した鳥羽山遺跡の遺物は丸子郷土博物館で見たが、丸子郷土博物館は、私の他に入館者がいなかった。丸子郷土博物館の今後はどのようになっているか。
(事務局) ・前回、公文書館という話をしたが、博物館と併設ということで話が進んでいる。来年度以降、具体的な進展があると思われる。
- (委員) ・丸子郷土博物館は旧市町村の文書類の公開の場となってほしい。
(委員) ・国分寺資料館では、親子歴史体験教室で勾玉・矢じりを製作体験しているが、良いことなので、息長く実施していってほしい。
・英語のパンフレットを作成したとのことですが、こうゆう時代になったのだと感じた。
(事務局) ・市立博物館の最近の入館者の状況ですが、大河ドラマ館の閉館後の1ヶ月で約7,

- 000人が入っている。いまだ、大河ドラマ効果が続いていると思われる。
- (委員) ・今後、市立博物館の講座はどこで行うのか。
 - (事務局) ・講座は継続の方向で考えている。場所は、別館の使用が難しいことから、国分寺資料館を考えている。

4 連絡事項

- ・今後、市立博物館が老朽化していることから、改築等の検討が必要となる。検討は来年度から入る予定ですが、その際は皆様方にもご協力願いたい。
- ・次回は、新年度の早い時期、4月下旬頃に開催したい。

5 閉 会（倉澤博物館長）